

兵庫県保険医協会

# 但馬支部ニュース

No.165

2021年1月5日発行

発行 兵庫県保険医協会但馬支部  
連絡先 〒669-5346 豊岡市日高町伊府660  
谷垣医院 TEL/079-644-0010 FAX/079-644-0706



2021年 新年のごあいさつ

## 「コロナ禍」乗り越え 希望の持てる年に



支部長 谷垣 正人

新年あけましておめでとうございます。

東京オリンピックで盛り上がるはずだった2020年の日本は、新型コロナウイルスに振り回され、首相も代わって終わりました。私の診療所でも、コロナ患者さんこそ診ませんでしたが、発熱患者さんを病院の救急に紹介したところ「コロナでないことを証明してから送るように」と断られ、保健所の帰国者・接触者相談センターに連絡してPCR検査を受けてもらい、その結果を待って救急へ送ったことが何回かありました。また、発熱患者さん専用の診察室や出入口を設けましたし、院内検査を心配する患者さんの希望で長期処方を増やした結果、1日の患者数はかなり減りました。11月には、発熱等診療・検査医療機関を引き受けるかどうかの選択を迫られました（結局手を挙げませんでした）。

ひとつの感染症の流行が、私たちの生活だけでなく、医療、政治、経済にまでこれほど大きな影響を及ぼすとは思いませんでした。社会インフラとしての公衆衛生の重要性を今更ながら痛感した年でありました。

さて、昨年末から英国や米国でやっと、コロナワクチンの接種が開始されました。日本でもあと数カ月でそれが可能になり、いつかコロナ禍は収束すると思われれます。しかし、今後も新たなパンデミックが起こる可能性は高く、それに耐えられる社会をつくるビジョンが求められます。ところが、今回のコロナ禍での一連の施策や、学会会議任命拒否問題などをみると、今の政府は随分心許ない気がします。

昨年は協会支部活動も多くの制約を受け、会員の先生方にご迷惑をおかけしましたが、新年を迎えて今年を少しでも未来に希望の持てる年にできるよう活動するつもりです。本年もどうかよろしく願い申し上げます。

「健康と医療について語り合う会」感想文

# 「認知症」を知り、心軽く

兵庫手話通訳問題研究会 田邊 あゆみ

但馬支部は10月18日、豊岡市内で「健康と医療について語り合う会」を開催。千葉義幸先生（豊岡市：ちば内科・脳神経内科クリニック院長）が「認知症と物忘れ」をテーマに講演し、市民ら37人が参加した（前号既報）。この会は、協会が協力する兵庫県聴覚障害者協会・兵庫手話通訳問題研究会医療班が依頼したもの。参加者の感想を紹介する。



聴覚障害者らに手話を交えて解説した

千葉先生のお話が聞きたくて「わしも連れてってえ～なあ」と言う父を主人に託して出てきました。父はアルツハイマー型認知症です。父は最近、私に「なにしたらいいだ」「これでええんか」と常に尋ねてきて、返事や要望に応えないと怒りが大爆発、金切り声で叫びます。子どもの頃はあんなに大好きだったのに、父が福祉サービスを利用して留守になると、思いっきり手足を伸ばして深呼吸できる気がします。

先生は、「明日は我が身、まずは生活習慣病の予防をすることが大切。たとえ認知症になっても人間らしく人生を送ることができる」と言われました。私は“うちの父は認知症にならない！”と決めつけ、何かおかしいことは「年のせいだ」と思い込んでいました。変だと思った時に早期に受診し治療を受けていたら…、と後悔しました。

先生は、素晴らしい知識と技術をお持ちで、新設のクリニックは設備が整っているとお聞きしました。私は食べすぎに注意してもう少しダイエットに心がけて、おかしい！と思ったら早期に診ていただこうと思いました。また、先生は「介護をしたら自分の最期が分かる」

（3面へつづく）

（2面からのつづき）



講師の千葉先生（前列右から5番目）を囲んで記念撮影

と話され、父を介護するのではなく、自分自身を介護している気持ちになれば良いのだと理解しました。

資料に認知症の方々の声がありました。「怒らないで笑って許して」「うまく言えないけど、話したいことはたくさんある」「自分が壊れていく不安に押しつぶされそうです」など、まさに父の声だと思うと講演中に涙が止まらなくなりました。

お話を聞いて気持ちが軽くなり、父と笑ったり、お茶したり、手伝ってもらったり等、できそうな気がしました。千葉先生、貴重なお話をありがとうございました。

## 健康情報テレホンサービス

通話料無料 **(0120) 979-451**



- ★ 24時間いつでも3分間程度の開業医の手作りの健康・医療情報を放送しています。
- ★ インターネットでもご覧いただけます。過去の放送分もキーワード検索できます。URLは、<http://www.hhk.jp/> 左下のバナー「健康情報テレホンサービス」をクリック。

### 【1月のテーマ】

6日（水）から放送。11日（月・祝）は金土日のテーマを放送。

- 月曜日 女性のための避妊法
- 火曜日 医療と消費税
- 水曜日 ウォーキング ～足が痛くなったら～
- 木曜日 慢性腎臓病と透析
- 金土日 ピアスによるトラブル

★患者さんに配布していただける放送テーマのミニチラシ（A6サイズ）を作成しています。送付ご希望の医療機関は事務局 ☎ 078-393-1840 まで。

# 「みんなでストップ！負担増署名」 にご協力ください

協会・保団連では、「患者負担を増やさないことを求める署名」（みんなでストップ！負担増署名）に取り組み、県下で20,825筆、但馬支部で336筆に到達しています（12月17日現在）。

政府は、75歳以上の窓口患者負担を原則1割から2割にすることをはじめとした、負担増を計画しています。これ以上負担増が進むと、必要な医療を受けることが難しくなります。負担がのしかかるのは、高齢者のみではなく、全ての世代に及びます。私たちは、お金の心配なく安心して受診できるよう、以下の事項を求めます。

一、患者負担を増やさないでください



一、お金の心配なく安心して受診できるよう、窓口負担を軽減してください

会員の先生方には、署名用紙をお届けしております。まずは院長先生ご自身、ご家族、職員の方からご協力をお願いします。追加のご注文は、事務局（TEL:078-393-1807）または下の注文用紙をご利用ください。



署名用紙（上）の他にポケットティッシュなどのグッズもご利用ください

## 署名用紙・グッズ 注文用紙（送料含めすべて無料です） 返信 FAX078-393-1802

1	「ストップ！負担増」 署名用紙 	医療と介護の負担増の中止を求める署名用紙です。 裏がチラシになっており、分かりやすく署名の内容を解説しています。	5名連記（     ）枚 10名連記（     ）枚
2	署名用ハガキ 	ハガキサイズの署名用紙です。署名をしていただけましたら、そのままポストに投函いただけます。	（     ）枚

ご担当者様氏名		電話番号	—	—
事業所名		FAX番号	—	—
送付先住所	〒     -     -			